

## 令和7年度 第2回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和7年9月9日(火)

13時30分～15時30分

開催場所：教育文化会館 第6会議室

出席者：〈委員〉山澤委員（部会長）、村社委員（副部会長）、新山委員、安田委員、青木委員、野口委員、星委員

出席者：〈事務局〉小島館長、北村分館長、平井分館長、石渡担当係長、大久保係長、高橋主任（記録）

欠席者：〈委員〉竹内委員、

傍聴者：0名

### 1 開会

### 2 事務連絡

傍聴0名。過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。

### 3 館長あいさつ

### 4 部会長あいさつ

### 5 議事

#### (1) 市民館における物品販売許可に関する取扱いについて

・小島館長より説明

#### (2) 台風や大雨等荒天時の利用のキャンセルについて

・小島館長より説明

#### (3) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について

・教育文化会館の事業について大久保係長から説明

**山澤部会長**）識字学級の参加者はどこの国が多いのか。

**大久保係長**）中国が多く、その次にベトナム・インドネシアとアジア系の国が多い。

**星委員**）「夏休み自由研究」で学生ボランティア等も活躍していると聞き、夏休みの宿題をサポートするボランティア活動があればありがたいと思った。

**青木委員**）どのような方がボランティアになるのか。

**大久保係長**）識字学級では特に資格は必要ではなく、教育文化会館主催のボラ

ンティア研修を受講した方が活動している。今回の研修で6人程ボランティア希望者がいたので新規の学習希望者を受け入れられそうである。

**青木委員)** 色々な国の方がいると思うが、対応はできているのか。

**大久保係長)** 出身国の言語で対応できればよいが中々難しい。ただ日本語の学習の場でもあるので基本的に優しい日本語を使い工夫して行っている。

**山澤部会長)** 家庭・地域教育学級について。育休中の方が対象と思うが、参加数の減少は共働き世帯が増えたという事か。

**大久保係長)** 連続して講座に参加するのが難しいと聞いたことがある。川崎市としては連続講座を大切にしており、趣旨を説明し理解して貰っているが、全市的に連続講座の参加をためらう傾向が見られる。

**山澤部会長)** その理由について思い当たることがあれば伺いたい。

**大久保係長)** 世相の変化やコロナ禍が過ぎ世の中が動き始めた事、オンラインが発達し民間でも受講料を払えば手軽に学習できる事もあるかと考える。ただ市民館で連続して参加して得られる利点でもある仲間づくり等をもう少しアピールする必要もあったと考える。また平日開催の場合父親の参加が難しく、土・日にも協力してくれる保育ボランティアが必要である等色々課題がある。一つ一つ解決していきたい。

**山澤部会長)** やはり「対面」を強調する必要があると考える。

・ 大師分館の事業について北村分館長から説明

**安田委員)** 「Hot！するカフェだいし」は良い内容なので定員が欠けているなら町内会の掲示板を活用して周知し、広い部屋が利用できるなら広い場所で開催してはどうかと思った。

**新山委員)** 識字学級に関連した話題になるが、川崎区内の学校長の間で最近外国からの転入生が増えている事が話題になった。子ども達は学校生活の中で日本語の上達も早いが保護者方は中々難しいようである。このような学習の場があると良い。大師分館のシニア講座は健康に自分を含め関心のある人が多いと思われる。

**村社委員)** 「Hot！するカフェだいし」だが大正琴の演奏は珍しいと思う。以前は教育文化会館でも大正琴のサークルはあったが高齢のため解散してしまった。メンバーは高齢の方が多いと思うので助けてあげて欲しい。

・ 田島分館の事業について平井分館長から説明

**安田委員)** 「かわさき歴史散歩」はウォークラリーとは違うのか。

**平井分館長)** 別である。

**村社委員)** 「かわさき歴史散歩」だが50歳以下は参加できないのか。

**平井分館長)** シニアの年齢が概ね50歳以上なので設定しているが参加は可能である。以前は3時間歩いていたが途中で離脱する人が多く2時間に短縮し全員が最後まで参加できるようにした。

**野口委員)** 多文化キッズ「ぼれぼれ」のベトナム料理体験が興味深い。教育文化会館でも料理室があるので実施すると参加者が集まるのではないかと。また、子育ての講座に人が集まらないという話題があったが、時代の流れでネット社会になり集まらなくても友達が出来たようになったこともあるかもしれない。逆に海外の方の参加が増えて逆転している感じを受けた。

**山澤部会長)** ネット社会だが対面でのコミュニケーションは重要でその場づくりも市民館の役割だと思うので是非参加者が集まって欲しい。

**村社委員)** 「かわさき歴史散歩」で車いすの方も少しでも参加できるコースがあると嬉しい。色々なイベントはあるが車いすで参加できる企画は少ない。ダンスにも車いすダンスがありその大会もある。このような散歩で一部のコースでも良いので介護者がいれば参加可能というような企画をぜひ取り入れて欲しい。

**山澤部会長)** 杖の方も最近よく見かけるがその場合の参加はどうか。

**平井分館長)** ゆっくり歩くようにお願いしているので、そのペースで問題なければ杖での参加は可能である。車いすも可能かと思うが、東海道は道幅が狭いので難しい点もあるかと思われる。

**山澤部会長)** 杖の方も増えていると思われる中、もっと歩きたいと思っている人も多いと思われるので、そのような企画も必要だと感じる。

(4) 協議テーマ「市民館のあり方」(具体的な内容)について

・小島館長から説明

**青木委員)** ミューザ川崎で椅子のあるスペースに本・新聞を読んでいる高齢男性が多かった。新聞等の内容をテーマにディスカッションできる場所を提供しても良いと思った。

**星委員)** ショッピングモール等で買ったお惣菜を食べることが出来るスペースに多くの高齢者がいる。そのような場所は大切だと思うが、飲食だけではなくいつでも行くことが出来て気楽に仲間づくりできる場があると良い。

**野口委員)** 夏は涼しい場所に集まり、涼しくなると公園に来ておしゃべりするようになるのでは。講座では男性中心で簡単な料理を学べるのも良いのでは。

**山澤部会長)** 教育文化会館の1階のフリースペースも涼しいが先程は1人しかいなかった。外国人市民の方と一緒に料理教室も良いと考える。

**安田委員)** 高齢者の1人暮らしが多く周囲とも交流がない。周りに聞いたところ高齢者の関心事は、自分の将来の事・健康・財産・看取り等が心配であると聞いた。そのようなテーマを取り上げてはどうか。

**山澤部会長)** 川崎区は1人暮らしの高齢者がとても多いと聞く。男性向けに終活・エンディングノート・介護・料理・断捨離を含めた一連の講座が考えられる。

**村社委員)** 生きがいづくりが大切であると考え。その元になるのが教育文化会館・市民館である。高齢者が関心を持つ内容で何回かに分けて参加できるよ

うな講座があると集まるのではないか。

**山澤部会長)** 様々な内容をミックスした講座の実施も良い考えである。

**新山委員)** 学校では不登校問題が大きな課題であるが、参加対象を絞ると逆に参加しにくい部分もある。各館では様々な講座・イベントを実施しているので継続して垣根を超えて色々な人が参加できる内容で続けていただきたいと考える。

**山澤部会長)** 「夏休み自由研究」のような小学生対象の講座も実施しているが、それ以外に小学生が参加したくなるようなアイデアがあればお願いしたい。

**星委員)** 皆が参加できる場があるとありがたい。親としては勉強を教えて貰える場や、習い事の入門体験ができる嬉しい。特に日本の伝統的な文化は少々敷居が高いので初めの一步として体験できればと考える。

**青木委員)** 不登校から引きこもりになる人が多いと聞く。その人たちを対象に交流できる場があっても良いのではないか。

**山澤部会長)** ネット社会が引きこもりを増長している部分もあるかもしれない。中学校の現場では増えているのか。

**新山委員)** 増えているため登校しやすいように別室の用意や、オンラインでの参加も可能にしている。世の中とのつながりを絶たないように、生徒が自分の人生を歩んで貰えるような現状である。

**山澤部会長)** 市民館版の寺子屋になると思うが、学校には行けない子ども達が市民館に来てリタイアした先生が教える場もあっても良いのではないか。子ども達が一步外に出るのが大切だと思う。その辺の講座も少しずつ普及できても良いのではないか。

外国人の方の問題・涼しい場所、暖かい場所を求めての高齢男性の居場所、不登校問題、子ども達の居場所の充実や日本の伝統文化の良さを体験できる講座を提供して欲しいという意見が出た。

**村社委員)** 外国人市民の方と交流するイベントがあれば、少しは交流が深まるのではと考える。一緒に学べる企画もあるととっても良い。

**山澤部会長)** 次回の「広報」にも関わってくるが日本語が不得手な保護者もイベントに参加して交流して友達づくりが出来れば良いと考える。何か手助けできることを行いそれが子ども達へと繋がるのではないかと考える。

**野口委員)** 不登校の子ども達の居場所づくりで、川崎区地域教育会議の議長は子ども達の遊びを大切にしている、富士見公園でも遊べる場所を開設している。普段は子ども会議に参加している子どもだけがそれ以外の子どもも参加してはどうか。市民館の中ではなく外遊びにはなるが、皆で遊びに出かけるのも良いのでは。

**山澤部会長)** 普段中々外に出てこれない子ども達を対象にするのも重要である。星委員のご高齢の親と家族と一緒に講座に参加できるというアイデアも重要で

あると考える。家族が一緒だと安心して参加できると思うが具体的にどのような内容が考えられるか。1人参加も良いが、ペアや3人参加も良い学びになると考える。他館になるがママとお子さんの英会話教室もある。

高齢者とその家族が参加できる講座の内容で何かアイデアがあれば伺いたい。

**村社委員）**親子で学ぶ書道教室はどうか。

**山澤部会長）**親子でも良いし、祖父母とでもどのような組あわせも良いのではないか。日本の文化を学び交流も出来る良い案である。

**安田委員）**近所に絵画・書道等色々な先生が沢山いるので初歩的な指導をしていただけるのでは。地元には芸術家が多いので、その方たちを集めて企画が出来れば面白いと考える。

**山澤部会長）**お囃子の太鼓も、「ばち」に竹を利用する等お金をかけずに日本の文化体験も行っている所もあるので、工夫できる部分もある。学校現場の状況について伺いたい。

**新山委員）**昔と違って学校と地域と繋がる部分が少なくなっているが、川中島中学校では秋にふれあい体験があり地域の方を招いてレクチャーして貰っている。30講座程実施している。

**青木委員）**ある尺八の教室では練習用のゴムの尺八を使っているところもあり手軽にできる場合もある。また、引きこもりの人の場合、パソコンに向かっているケースが多いと思うのでパソコンのスキルも高いと思われる。例えばパソコン指導やアニメのレクチャーを外国から来た子ども達にしてもよいのでは。勉強でなくても良いのではないか。

**山澤部会長）**引きこもりの方達が教える側としての講座を受け、子ども達には遊びとして教えていく。遊びながら学ぶことは交流が深まり良いと考える。色々な意見が出たのでこのアイデアを職員につなげたい。

**小島館長）**具体的な案も出たので参考になる。中でも印象に残ったのが男性の介護や掃除の講座、外国人市民の方との料理教室、終活関係、親子で書道教室等を含め様々な良い意見をいただいた。今後の教育文化会館の事業の参考としたい。

**山澤部会長）**他の自治体での例になるが、講座に参加していた外国人市民の方が中心となって、次に料理教室を開催した事例もある。やり方は色々と思う。

**山澤部会長）**今回は、今回出た事業を実施するための広報を考えたい。今までもネット関係を含めて色々な手段で広報をおこなっているが、より効果的な広報について考えたい。委員の皆さんの身近なところでアイデアが出てくると思うので次回までに意見をお願いしたい。

(5) 今後のスケジュールについて

第3回 令和7年12月16日(火) 13時30分～

第4回 令和8年2月15日(日) 午後

6 その他

7 閉会